



# 山の山に —Vol.54—

里山保全とマツタケ山の整備に取り組む

## 中山吉男さん

なかやま・よしお (77) =国重=

### 里山保全で植生が変化

「山にほれ込んだら、山も反応を返してくれる。今では山と恋人のように接している」と話す中山吉男さん(77) 国重は、6年前から松林の手入れを始めて、マツタケ栽培に挑戦している。

きっかけは、珠洲市で開催されたマツタケ生態学者、吉村文彦氏(京都大学農学博士)の講演を聴いたこと。「放置された山ではマツタケが出なくなる。どうすれば昔の山にできるか」という話を聞いた中山さんは、「自分もやってみよう」と山に入ることを決心した。

早速山を歩いてみたが、「ともに歩けないほど荒れていて、ジャングルのようだった。保全よりも再生することが先だと思った」と振り返る。吉村先生の著書などを教科書に、5年計画の計画表を作り、月々の作業内容を決めた。「山に関しては、まったくの素人。道具もすべて初めて使うという手探り状態から始まった」。

松林を10区画40区画に整理し、保全作業を続けた。山に変化が現れたのは3年目。

「今まで咲いたことがなかった山野草が増え、野鳥の鳴き声も増えてきた。動植物にとって、手入れされた里山は住み心地が良い環境なのだ分かった。山野草の観察は、山に入る楽しみの一つになった」

### 視察と指導を受ける

計画の5年間を終えた中山さんは、そのデータを吉村先生に送る。ちょうど6月3・4日に講演のため能登を訪れた吉村先生は、4日午後に中山さんの山の視察に訪れ、指導を行った。吉村先生と共に活動する『マツタケ山復活させ隊』のメンバーや里山里海自然学校のスタッフら12人が現地に入り、松林の状況を調査。意見交換が行われた。

「マツタケ山にするまでに不備な点を指摘してもらった。とても参考になった」と話す中山さん。現在は吉村先生の指示を受け、地掻き作業を続けている。

### マツタケ山をデザイン

中山さんは、京都で生まれ育ち、工業高校で工業デザインを学んでいた。その経験を生かして、マツタケの菌を移植する道具を発明。『採取移植パイプ』は今年2月に特許を取得した。

「区切りの5年は終わったが活動はエンドレス。続けることの大切さを里山に教えてもらった。この山からマツタケが出るまで頑張りたい」と決意を新たにしている。

松林をきれいにすることで、これまで育たなかった松の苗木も育つようになっていく。中山さんは一つ一つに目印を付け、松の2世も育てている。

「昔は燃料が必要で山に手を入れ、その副産物がマツタケだった。これからはマツタケを主産物として栽培したい。結果を出すまで時間はかかるが、産業にする土壌が能登にはある」77歳になっても勉強と挑戦を続ける中山さん。その取り組みとデータは『能登の里山』として、きつと大きな財産になる。

続けることの大切さを  
里山に教えてもらった。  
この山からマツタケが  
出るまで頑張りたい。



【右】松林の土壌を調べる吉村文彦先生。腐葉土部分(約5センチ)を地掻きすることを指示した。  
【左】ササユリの花。花がいつ咲くのか楽しみで山に足が向かうという。



8\_ 火点に向けて全力疾走する2番員。 9\_ ポンプ車操法は、2つの火点にホースを延長し、放水して標的を倒すまでのタイムと動作を競う。 10\_ 指揮者の号令に合わせて進む小隊訓練。隊の編制と隊形が審査される。 11\_ 4分団が同時に競技を開始する小型ポンプ操法。タイムと動作、規律、節度を競う。



# 『地域を守る』 三百の消防魂

地域を守るため、日夜訓練を重ねる消防団員。その訓練の成果を競う「能登町消防団訓練大会」が6月18日、宇出津新港水産埠頭で開催された。七回目を迎えた今年の大会には、団員三百人が参加。家族や地域の応援を受けながら、迅速・正確な動きを見せていた。



1\_ 入場行進や開会式などで吹奏するラッパ隊は8人。柳田地区の団員で結成される。  
2\_ 放水目標である火点。  
3\_ 車両部隊の入場。  
4\_ 訓練大会を締めくくった一斉放水。  
5\_ ポンプ車を操作する4番員。  
6\_ 第2線延長のため、ホースを担いで走る2番員  
7\_ 操作開始後、1番員と2番員が第1線を延長し、3番員と4番員が吸管を水利に延ばす。



## 総合の部

①三波分団②上町分団③柳田分団  
ポンプ車操法の部

①三波分団②松波分団③小木分団  
小型ポンプ操法の部

①上町分団②宇出津第2分団③小間生分団  
小隊訓練の部

①三波分団②宇出津第1分団③上町分団  
※ポンプ車操法の部で優勝した三波分団は、7月30日(土)に県消防学校で行われる県大会に出場

## 石川県知事表彰

銀杯を授与する表彰

- ▽町端哲 (宇出津第2・分団長) ▽川原文治 (小間生・副分団長) ▽天幸幹夫 (三波・副分団長) ▽山本健一 (山田・部長) ▽石谷光男 (岩井戸・部長) ▽岡村隆行 (高倉・部長) ▽西谷幸一 (不動寺・部長) ▽上富茂利 (高倉・班長) ▽谷口充 (秋吉・班長) ▽木村尚司 (宇出津第2・班長) ▽四谷秀治 (柳田・団員) ▽坂口浩明 (高倉・団員)

## 石川県消防協会会長表彰

優良消防団表彰

- ▽鵜川分団 ▽三波分団

## 功労章▽谷政伸一 (三波・分団長)

▽宮下彰雄 (秋吉・分団長) ▽元勇一 (鵜川・分団長)

功績章▽新谷正仁 (小木・分団長) ▽富田浩史 (松波・分団長) ▽敦幸浩 (白丸・副分団長) ▽南正一 (山田・副分団長)

勤続功労章▽山本明人 (上町・班長) ▽堂前利昭 (小間生・班長) ▽山本祐圓 (不動寺・団員) ▽橋本章 (不動寺・団員) ▽山口竜次郎 (秋吉・団員) ▽松島徳造 (小間生・団員) ▽柴野立太 (神野・団員) ▽山谷聡司 (三波・団員) ▽竹下浩市 (三波・団員) ▽安田潮 (鵜川・団員) ▽釣谷一義 (小木・団員) ▽谷中栄俊 (小間生・団員) ▽瀬川忠 (秋吉・団員)

## 能登町長表彰

団員感謝状

- ▽田口正一 (元町消防団長) ▽藤谷政信 (元鵜川分団長) ▽菅原圭一 (元松波分団長)

消防団員雇用事業所感謝状  
▽(株)三宅配管 代表取締役 三宅一宏▽(株)ランドスケープ開発 代表取締役 下谷内 充▽柳田庭園 堂前利昭▽脇電設 代表取締役 脇 勲

## 能登町消防団長表彰

- 精勤章▽宮下守 (山田・団員) ▽上見正人 (小木・団員) ▽嵐友宏 (高倉・団員) ▽石淵浩司 (山田・団員)